



正しい姿勢を意識して「1, 2, 1, 2」元気に歩行訓練です

それいゆ 広報

Vol.131

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- Dr.Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れぞみ
TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ
TEL0577-32-8166

木の葉も日一日と色づいてまいりました。

ご利用者様ご家族様、各関係機関並びに事業所の皆様には、当施設の運営に對しましてご理解とご協力、ご指導ありがとうございます。特にご利用者様ご家族様には、一年半にも及ぶ新型コロナウイルス感染症予防対策では、ご理解ご協力をいただき深く感謝しております。ウィズコロナを踏まえて、ご負担ご心配が少なくなられるよう対応を配慮させて頂きたいと思っております。面会制限等が緩和される日まで、ご利用者様お一人ひとりの生活の質が低下しないよう、笑顔が守れるよう、スタッフ一丸となり日々のケアを誠心誠意させて頂いていただきます。

私事ではありますが、岐阜県立下呂温泉病院に三十六年勤務、退職後、当施設に再就職し五年目になり、看護介護部長の命を受けました。今後ともよろしく願っています。

皆様は、それいゆの社訓とも言える「それいゆ憲章」をご存じでしょうか。玄関に入られて左側の壁に大きく掲げてあります。平成十年九月一日、施設の開設時に示され二十年以上施設職員の礎になっています。ご覧になられたことのない方も多いと思われますので紹介します。

一 私達は、広く平等に愛するという「同仁精神」に基づき高齢者の自立支援と家庭復帰を目指して誠実に努めます。

一 私達は、太陽の恵みのように誰にも明るく暖かく公明正大に礼儀正しく接します。

介護老人保健施設それいゆ における取り組み

介護老人保健施設それいゆ
看護介護部長 今井 靖子

看護介護部長 今井 靖子

一 私達は、互いの立場を認め合い人として尊厳を守ります。

一 私達は、施設内外の安全に心がけると共に生きていることが楽しいと思える日々を送っていただくよう努力します。

一 私達は、いかなる困難にあっても決して絶望しないと誓います。

この憲章に導かれる職員は、常に利用者主体の質の高い介護サービスの提供を心がけ、地域に開かれた施設として、利用者のニーズにきめ細かく応えることを実現するために日々自己研鑽ができると考えています。

私共の施設は、十月から在宅強化型の介護老人保健施設として始動いたします。より質の高い介護サービスを提供するために、各専門職が一丸となりご利用者様の在宅復帰をサポートしていきます。そのためには、多職種との連携が必須となり、コミュニケーション力が重要です。看護・介護職員が、接遇マナー、技術、知識、コミュニケーション能力等のスキルアップができるように、環境を整えることが私の役割の一つであると考えております。

今後笑顔と明るく元気な挨拶をモットーに、ご利用者様の気持ちに寄り添い、生活の質、人生の質を考えた介護を提供して参りたいと思います。

今後とも、ご理解ご協力を賜われますようよろしくお願いいたします。

『お仕事発見隊』に参加して

通所リハビリテーション 介護長 白川 浩代

今年は例年になく、過ごしやすい季節が早くにやってきました。

日頃より、それいゆ通所リハビリの運営に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて去る8月3～4日、『地域お仕事発見隊』というプロジェクトに参加させていただきました。地域の子供たちが地元から離れていくことが多い昨今、地元どんな仕事があるのかを知り、体験することで将来地元就職してもらおうという趣旨です。介護という子供達にはあまり興味を持ってもらえない職業なのでは？と思っていましたが、小学生8人の子供たちが参加を希望してくれました。

当日は、レクリエーションとして利用者様と一緒に風鈴に絵を描くお手伝いをしてもらいました。始まる前に「明るい笑顔で、元気な大きい声で接してください」と説明しました。知らない人に話しかけるのはきっと難しいだろうと思っていましたが、みんな笑顔で自分から話しかける姿があり驚きでした。「どんな絵がいいですか？」「何色にしますか？」子供たちの声掛けに利用者様の笑顔がたくさん見られました。想像する以上に楽しい時間を過ごすことができました。何より嬉しかったのは、子供達からも「楽しかった!!」と言ってもらえたことです。「また来年も来たい」と言ってくれる子も。将来、自分の職業を決めるときに“介護士”という選択肢を持ってくれたらとても嬉しいです。

最後になりましたが、この素敵な機会をくださった飛騨高山フューチャプロジェクトの方々に感謝し、益々の発展をお祈りします。



老健施設は地域におけるリハビリの拠点

1. 在宅強化型老健へグレードアップ

それいゆでは「在宅復帰を支援する施設」という介護老人保健施設本来の使命・役割を果たす為に、リハビリスタッフや職員体制の充実・強化を図り、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護福祉士・管理栄養士・ケアマネージャー・支援相談員等による多職種連携のもとご利用者様のケア・健康管理並びに身体機能の維持向上を行っております。また、ご家族の介護負担軽減のため、通所リハビリやショートステイ等、退所後の介護サービス等を通じ、入所の方々が安心してご自宅等に帰っていただけるよう努めて参りました。

現在介護老人保健施設は、在宅復帰や在宅療養支援に関する機能や各種取り組みに応じて「在宅復帰超強化型」「在宅復帰強化型」「支援加算型」「基本型」「その他型」の5類型に分かれております。これまで当施設は「支援加算型」として運営して参りましたが、今年度リハビリ体制の構築と充実を図り厚生労働省が定める「在宅復帰型」の要件を満たしたことにより、令和3年10月1日付をもちまして「在宅復帰強化型老健」としての届け出が岐阜県に受理されましたので、ここにご報告させていただきます。

「在宅復帰強化型老健」ということで基本サービス費が費用負担割合が1割の場合、月額7円～50円（2割負担は2倍、3割負担は3倍）の増額となりご負担かけますが、ご利用者様にいつまでも健やかにご自宅等で暮らして頂けるよう、これからも努力を重ねて参ります。

【在宅強化型老健に求められる要件】

以下の10項目の実績に応じたポイント合計で60ポイント以上満たすこと。

①在宅復帰、②ベッド回転率、③入所前後訪問指導割合、④退所前後訪問指導割合、⑤居宅サービスの実施数、⑥リハ専門職の配置割合、⑦支援相談員の配置割合、⑧要介護4又は5の割合、⑨喀痰吸引の実施割合、⑩経管栄養の実施割合

在宅復帰・在宅療養支援等指標： 下記評価項目（①～⑩）について、項目に応じた値を足し合わせた値（最高値：90）				
①在宅復帰率	50%超 20	30%超 10	30%以下 0	
②ベッド回転率	10%以上 20	5%以上 10	5%未満 0	
③入所前後訪問指導割合	30%以上 10	10%以上 5	10%未満 0	
④退所前後訪問指導割合	30%以上 10	10%以上 5	10%未満 0	
⑤居宅サービスの実施数	3サービス 5	2サービス 3 ⇒2サービス（訪問 リハビリテーション を含む） 3	1サービス 2 ⇒2サービス 1	0サービス 0 ⇒0、1サービス 0
⑥リハ専門職の配置割合	5以上 5 ⇒5以上（PT、OT、 STいずれも配置） 5	3以上 3 ⇒5以上 3	（設定なし） ⇒3以上 2	3未満 0
⑦支援相談員の配置割合	3以上 5	2以上 3	2未満 0	
⑧要介護4又は5の割合	50%以上 5	35%以上 3	35%未満 0	
⑨喀痰吸引の実施割合	10%以上 5	5%以上 3	5%未満 0	
⑩経管栄養の実施割合	10%以上 5	5%以上 3	5%未満 0	

2. 老健施設からの訪問リハビリテーション事業

介護老人保健施設それいゆでは「訪問リハビリテーション」を年内開設に向け準備中です。施設退所後あるいは病院を退院後、機能回復維持のため切れ目なくリハビリを継続することが理想とされています。リハビリをやりたくても外出が困難な方や自宅での日常生活が安心して送れるよう実践的なリハビリを行いたい方に、老健施設のリハビリスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）が直接ご自宅等にお伺いして支援させていただくのが「訪問リハビリテーション」です。また、介護するご家族へのアドバイス・相談も行うことができます。入所及び通所利用時から一貫して施設医師の診断と指示の下、共通のリハビリスタッフが計画・施術・評価を繰り返しサポートしますので安心してご利用いただけます。

◆営業日時：月～金曜日、8:30～17:30

◆サービス実施時間：1回あたり40分以上1時間未満、週1～3回

◆利用料金：介護保険負担割合が1割の方の場合、基本サービス費は1回当たり626円、他利用状況により各種加算が算定されます。介護保険負担割合が2割あるいは3割の方については2倍あるいは3倍となりますのでご留意下さい。

◆訪問範囲：旧高山市内が対象となります。訪問範囲以外で訪問を希望される場合はご相談下さい。

これまで介護老人保健施設それいゆでは、入所・短期入所・通所リハビリテーションのサービスを提供して参りましたが、訪問リハビリテーションという新たなサービスが加わることでこれまで以上に、地域の皆様の在宅等生活を支える役割を担う施設になれるよう、また地域におけるリハビリの拠点施設となるよう職員一丸となって邁進して参ります。

★衣替えのご案内★
朝晩寒くなってきました。
入所利用者様の衣替えをお願い致します。
★インフルエンザ予防接種予診票提出のお願い★
当施設では入所者様の予防接種を十一月に予定しております。予診票が市役所より届きましたら、全て記入のうえ、提出をお願い致します。

敬老会



法話



上巻時記

主任 理学療法士 住田 真一

それいゆ訪問看護ステーション

清秋の候、日頃はそれいゆ訪問看護ステーションをご利用いただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染者数が増加する中、全国各地で災害レベルの状況にあるとの認識になってきております。これは自然災害（地震・洪水等）同等のレベルに迫ってきている状況です。

こうした災害時に、近年では、業務を中断させないよう準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方針、体制、手順等を示した計画、業務継続計画（BCP）の作成が義務付けられました。

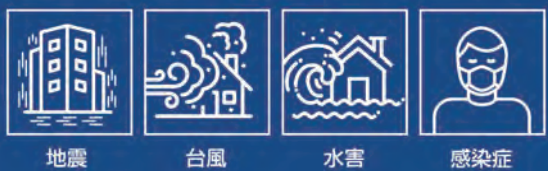
そうした中、我々訪問看護ステーションでも、現在取り組んでおります。その中でも、重要な取り組みとしては、

- 誰が、いつ、何をするのか。
- 連絡先をあらかじめ整理しておくこと。
- 必要な物資をあらかじめ整理・準備しておくこと。
- 利用者様への安否確認や、訪問中または移動中の対応を明確にしておくこと。

● 可能な場合には、避難先においてサービスを提供する方法を決めておくこと。

といった内容であります。災害はもはや、いつ何時、どこで起きてもおかしくない状況です。当事業所でも、利用者様に、ただただでも安心・安全に生活が継続して送れるよう、業務継続計画を作成し、臨機応変に対応できるよう、進めてまいります。

BCP対策



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 野島 尚子



日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただき、有難うございます。

昨年末からの、職員の減少に伴い業務を縮小せざるをえない状況となり、利用者様や関係者様には大変ご迷惑をお掛けしました。今後は介護職員の増加と育成、体調管理を行い、利用者様のニーズに応えられる体制作りを行います。

「住み慣れた自宅で暮らしたい」「安心して日々を過ごしたい」という利用者様の思いに寄り添い、お世話と支援をさせていただくという強い意志のもと、今後も職員一同頑張っていきたいと思っております。

利用者様の「待つとったよ」「助かった」「有難う」と言ってくれる言葉を励みに、三百六十五日私達訪問介護員は利用者様に、「安心・安全・笑顔」を届ける為に訪問します。

少しずつ肌寒くなってきました。みなさま体調管理には気を付けてお過ごしください。

引き続き感染症予防を徹底し、安全に訪問させていただきます。

今後とも、ヘルパーステーションそれいゆをよろしく願いたします。

りあん・ど・それいゆ

看護師 平田 澄美子

新型コロナウイルス感染症への対応が継続している中、ご家族のご協力を得ながら、普段通りのご利用をさせていただけることに感謝申し上げます。

小規模多機能型居宅介護では、「通い」を中心にご本人の状況や希望に応じて「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせ、自宅で継続して生活するために必要な支援を二十四時間三百六十五日の安心を届けることを目的としています。

安心を届けるとは、一体どういうことなのでしょう？

りあんでは、朝夕の送迎時にご家族とのかかわりを重視しています。また、送迎時は忙しくお話が十分にできないご家族とは、連絡帳を活用し、夜間やお休み日のご様子をお聴きし、その日その時に必要な支援を模索しながらではありますが、職員全員の知識と経験を出し合い、お一人おひとりにとって最善の支援を提供できるよう努力しております。

ご本人の声はもちろんですが、ご家族の声をこぼさずお聴きし、『かゆいところに手が届く存在りあん』でいられるよう日々精進してまいります。



シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功

新型コロナウイルスの感染症の終息が見えない中、行動の制限によるストレスと感染への不安を抱える毎日が続いております。

シャロン・ド・それいゆでは小規模多機能型居宅介護としてのサービス提供にあたり、介護度に関係なく多様性のあるサービスの提供と、ご利用者さまのニーズ、必要な対応や的確なサービスの提供ができるように、職員一同常に心がけております。御気づきの点や御希望等がありましたら、いつでもご連絡下さい。

現在、シャロン・ド・それいゆでは、いかなる時でも事業が継続できるよう持続化計画の策定にあたっております。

第一に感染症予防。新型コロナウイルス感染症への対応です。泊り利用の利用者様、独居の利用者様には直接的に生活への影響が出るためコロナ感染予防を徹底したうえで事業を継続いたしました。通い、泊り、訪問とサービスの多様化するほど感染のリスクも高くなります。感染有無のみならず、感染のリスク管理、感染



今後、災害時（風水害等）に対しても、マニュアルの整備等により災害が起こっても事業の継続と安全な対応ができるように心がけていきたいと思っています。

シャロン・ド・それいゆでは、見学・相談を随時受け付けております。



Dr. O'shi-goeビオメゾン

副施設長 折茂 いづみ

岐阜県でも第五波「緊急事態措置延長」を受けて今年の夏も、施設では感染防止対策の徹底に努めており、ご家族にはオンライン・短時間面会等のご協力をいただきありがとうございます。

ビオメゾンでは、お元気な方から介護が必要な方まで様々な方がご入居されています。また終の棲家として終身でご入居されている方、老健や特養待ち・病院から退院後の療養の場として短期間でご利用される方もいらっしゃいます。皆様、望まれる事は三者三様、それぞれで違いですが、そこにいたるプロセスを大切にしてお一人おひとりのニーズを踏まえてどういったサービスが必要なのかをしっかりと把握し、業務の標準化と介護の質の向上を図ってまいります。

また業務の標準化により『感染症・自然災害等の不測の事態でもご入居者にとって欠くことのできないサービスの提供を中断しない』体制を検討しております。

いかなる時でもご入居者様に対する心と気持ちに寄り添って個々のご入居者様に安心と喜びと夢と希望をもって生活していただける、そんなビオメゾンになるようこれからも職員一同研鑽を積んでまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



デイサービスセンターれざみ

介護福祉士 古田 智子

日頃はデイサービスセンターれざみをご利用いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの変異株出現や感染拡大により利用者様、家族様にはデイ利用に関し様々なご負担を強い事となり心苦しく思っています。

又、昨今新型コロナウイルスだけでなく大雨による土砂災害や浸水等以前と比べ災害の規模も大きくなっています。これまでにデイれざみでもお帰り時間に台風が迫り時間短縮した事や、大雨特別警報によりお休みさせて頂いた事もあります。今後も気象の変化や地震による営業停止、利用中の災害発生によりご自宅へお帰り頂けない場合、あるいは職員が出社出来ない等、災害規模によっては不測の事態が考えられます。



その様な事態に備え『災害が発生した場合であっても、利用者様に必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を構築すること』を目的とし、営業停止や避難に関する基準作りや災害対策マニュアルの作成等に取り組んでいます。又デイれざみだけではなく、同仁会内の様々な事業所と月一回会議を開き施設全体での対応策や連携を深めています。

今後も利用者様が安心、安全に過ごして頂けるようスタッフ一同努めてまいりますので宜しくお願い致します。

ショートステイそれいゆ

介護福祉士 吉住 明弘



いつもショートステイそれいゆをご利用いただき誠にありがとうございます。
新型コロナウイルスを巡る状況も未だ収束がみえず、感染拡大防止対策への取り組みが続いています。
私共も感染防止のため、職員・ご利用者様への日々の健康チェック、マスクの着用、手洗い、空気の入換えを徹底しており、皆様にご協力いただき、感謝の念に堪えません。
五月から導入されたタブレット端末による業務の記録、管理も大分定着し、業務の効率化が図られております。
今後、ご利用者様に提供するサービスの向上に努め、より満足いただける施設になれるよう、日々精進してまいります。



ケアプランセンターそれいゆ

管理者 寺田 歩美

日頃はケアプランセンターそれいゆの事業運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で改めて、今までの当たり前が色々な方々の支えや協力の上にあるかを感じました。予防の為と様々な制限がかかり、今まで通りにいかない事が増えています。仕方がないと分かっている不自由を感じざるを得ません。それでも業務見直しのきっかけとして捉え、今できることを一つひとつ積み重ねてきたいと思っています。

今後の取り組みとして左記の委員会を法人内に設置し取り組んで参ります。

① サービスが安定的・継続的に提供

供される体制作りの為BCP（業務継続計画）

② 感染症の予防及びまん延防止に努め、対応指針をまとめる感染症対策委員会

③ 継続的で円滑なサービス提供と安心して働ける環境を整える為のハラスメント委員会

④ 利用者の人権擁護・虐待防止の為の措置として虐待防止委員会それぞれ担当を決め、定期的に話し合いの場を設け、より良いサービス提供が継続できる為指針を策定中です。

途切れる事なく継続したサービスを提供できる体制作りに生かしていきますので、今後とも宜しくお願い致します。



病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷 美穂

日頃は病児保育室の運営にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスが流行する昨今、お子さんの急な発熱などは親御さんやご家族にとって大きなご心配やご負担になっているとお察しします。

私たちプティそれいゆは、まずはお子様やご利用者様の安全を第一に考え、受け入れ体制や感染予防対策の強化に努めております。そのため、お子様一人ひとり個別に部屋を分け、スタッフも個別に対応しています。

社会においてもいろいろな制限のある生活が日常となっている子どもたちですが、それと同時に子どもたちにとっては日々が大きな成長と多くの経験を

する貴重な積み重ねの時間です。
プティそれいゆに来てくれる子どもたちも好奇心にあふれ、遊びたい気持ちがいっぱいです。



現在、受け入れられる人数が限られておりますが、その分子どもたちの個性や気持ちに寄り添い、より個別に対応したケアが提供できる環境です。

子供たちのやってみたい、学びたい、やり遂げたい、そんな気持ちにもしっかり寄り添いながら、お子様の状態の変化をとらえ回復を促す病児保育の特性を十分に発揮し、子育て中の皆さまの抛り所となるようスタッフ一同日々研鑽しておりますので今後ともよろしく願ひいたします。

編集後記

ようやく各地に発令されていた緊急事態宣言と蔓延が解除されました。過ごしやすいい気候も幸いして町中を行き交う人々の表情も以前より柔らいでます。国も首相が交代して先行きを見守る状況となっています。

新聞の見出しにはミチ「コロナの時代をどう対応していくべきか」と出ていました。以前、ピンチをチャンスに、を書きましたが、コロナ禍で改めて普段からの様々な事態に対する危機管理体制の重要性を認識しました。

現在、医療法人同仁会の各事業所ではBCP（業務継続計画）に取り組んでいます。如何なる状況であっても地域の皆様に信頼してご利用いただけるように、地域の皆様に笑顔になつていただけるように、これからも努力していきたいと思ひます。

（写真：高山フューチャープロジェクト参加イベント）

